

中瀬小CSだより

令和6年度 中瀬小学校コミュニティ・スクールだより No.3 令和7年1月24日



★第3回中瀬小学校運営協議会が開催されました★

去る12月12日に開催された令和6年度第3回中瀬小学校運営協議会では、2学期の学校支援活動の振り返りと、2学期学校評価について協議しました。



学校支援活動の振り返り

学校支援活動開始から今年度で2年目となる中瀬小学校では、学期毎にボランティア募集と支援活動をおこなってきた。皆様に安心して活動に参加していただくため、ボランティア募集時に活動内容の詳細をお伝えすることを徹底したい。近年、各地域の防災訓練への参加が減少傾向にあるので、防災という観点からも、地域・学校・保護者のつながりについて考えていきたい。支援活動参加者数は増加しているが、今後は更にネットワークを広げていきたい。(学校支援コーディネーター)

登校時の児童の見守りを地域の方をお願いできないか。児童数が少ない地区では、一人でぼつりと歩いている子供を見かけることがあるので心配だ。(委員)



老人クラブや親和会などに見守りの協力をお願いすることができるのではないかと思います。(委員)

学校評価について

夢と目標とでは意味の捉え方が違うのではないかと思います。「目標に向かって取り組んでいますか」という分かりやすい言葉での質問がよいと思う。(委員)

本校では、ねばり強く何かに取り組むといったことを苦手とする児童が多いことが反省課題であったので、「夢(目標)に向かってねばり強く頑張れる子を育てる」ということに力を入れて活動を進めている。(教員)

教科担任制導入後、図工の作品が良くなったと感じる。教科担任制には良い面があるので、保護者にもその良さを伝えることができるとよいと思う。(委員)

自己肯定感が高い子は評価が高くなると思う。中学年以上の保護者から、学力低下気味の子供への支援を希望する声が多いことが気になる点だ。(委員)

学習支援ボランティアさんの声



これまで学習支援ボランティア『なかぜっ子応援団』として御協力くださいました多くの方々を対象に、アンケート調査を行いました。皆様の御意見・御感想を紹介します。



《6年生・校外学習見守り》

- ・普段とは違う子供たちの姿を見ることができ、微力ではあるが安全に活動できるようサポートすることができ参加してよかった。
- ・子供たちは班行動する意味を理解し、目的達成に向けて協力している姿を見ることができた。

《2年生・町探検見守り》

- ・自分自身も住んでいる町に関する発見があり新鮮だった。
- ・大人数での校外学習は危険も伴うので、見守ることにより協力できてよかった。

《手芸・裁縫クラブの支援》

- ・子供たちは集中して取り組んでいて、作品に愛着をもち、達成感を味わうことができていたように思う。
- ・事前に活動内容を教えていただくと支援がしやすくなったと感じた。

《新体力テスト見守りと測定補助》

- ・子供たちの頑張っている姿を見ることができ参加してよかった。
- ・少しでも小学校の活動に携わることができて嬉しい。
- ・ボランティアの役割がもう少し明確に決まっているとよいと思った。

《家庭科(裁縫・ミシン)の支援》

- ・自分の子供の様子も見ることができ、他の子供たちも喜んでくれたのでやりがいを感じた。
- ・初めて使う道具の使い方が分からないという子供への支援の大切さを感じた。
- ・作業開始前に、進め方や支援内容の指示があったので分かりやすかった。

今後も、さくら連絡網にて学習支援ボランティアの募集を行ってまいります。



学校運営協議会の会議資料や議事概要などは、中瀬小学校HPに掲載していきます。お時間がありましたら、是非、御覧ください。